

# AI活用人材育成プログラムの概要

関西学院大学「AI活用人材プログラム」のカリキュラムは、予備知識がなくても段階的に学べるように構成されていますので、理系文系関係なく、初学者でもやさしく始められます。

「AI活用入門」に始まる全10科目から成りますが、基盤的な科目である「AI活用入門」「AI活用アプリケーションデザイン入門」「AI活用データサイエンス入門」の3科目に加え、実践科目となる「AI活用機械学習プログラミング演習」「AI活用Webアプリケーションプログラミング演習」「AI活用UX/UIデザインプログラミング演習」の合計6科目をバーチャルラーニング化して、インターネットを通じたオンライン講座

として受講できるようになっています。

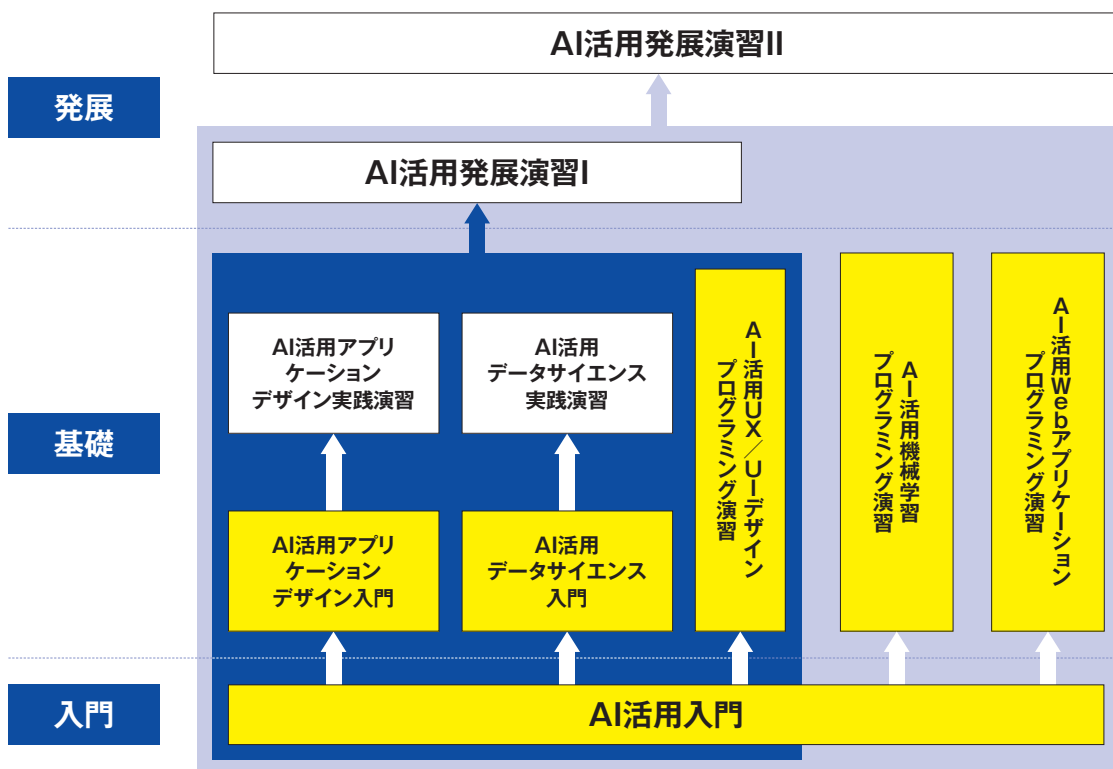
日本IBMとの共同プロジェクトで開発したことにより、IBMをはじめAI活用企業の実務の視点をふんだんに取り入れ、ビジネス現場で即戦力となれるような講義内容となっています。AI・データサイエンスのスキルを修得したうえで、実際の現場での課題に取り組む実践的PBL（Project Based Learning）による発展演習科目に進めるよう自己完結型で体系化されているのも特徴です。

文部科学省による「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」にも認定されています。

## AI活用人材育成プログラム カリキュラムツリー

矢印はすべて先修条件を示しています。

■ 関西学院大学の学生のみ（対面）  
■ バーチャルラーニングで開講



## バーチャルラーニングで開講中の講座

### 入門科目 到達目標レベル1:「基礎知識を有する」

#### AI活用入門

AI活用人材として社会で活躍するための基礎的な知識を修得することを目的としています。そのために、産業構造の変化や今後必要とされるスキルなど社会背景に関する知識、AI技術に関する基礎知識、AIを活用するために必要不可欠なデータサイエンスに関する基礎知識、AIを利用したアプリケーションを開発するための基礎知識を学びます。

**身につくスキル** AIスキル、DXスキル、データサイエンススキル、プロジェクトマネジメントスキル、プログラミングスキル

※関西学院大学において、AI活用人材育成プログラムを受講する際に、最初の履修を義務付けている科目です。

### 基礎科目 到達目標レベル2:「基本的な知識・技術を有する」「上位者の補佐ありで作業可能」

#### AI活用アプリケーションデザイン入門

AIの各機能（言語、画像、音声等）の技術・活用事例・利用法を学び、それらを実際のビジネス現場で活用できるようになるための基本的な知識とスキルを修得します。

**身につくスキル** AIスキル、DXスキル、プロジェクトマネジメントスキル、プログラミングスキル

#### AI活用データサイエンス入門

AIを活用するために必要不可欠なデータ解析に関する基礎知識、技術、活用事例、および問題解決フレームワークを学び、ソフトウェアを用いて実際のビジネス現場で活用できるようになるための基本的な知識とスキルを修得します。

**身につくスキル** データサイエンススキル、プログラミングスキル、コアスキル（考える技術）

### 実践科目 到達目標レベル3:「基本的な知識・技術を有する」「上位者の指示を仰ぎ作業可能」

#### AI活用機械学習プログラミング演習

機械学習・深層学習の仕組みを学び、プログラミング言語Pythonでプログラミングを行います。機械学習・深層学習に関する基礎的な知識を修得し、活用できるようになることを目指します。

**身につくスキル** AIスキル、データサイエンススキル、プログラミングスキル

### 実践科目 到達目標レベル3:「基本的な知識・技術を有する」「上位者の指示を仰ぎ作業可能」

#### AI活用Webアプリケーションプログラミング演習

AIを活用したWebアプリケーションの開発に必要な基礎的な技術を修得します。

**身につくスキル** AIスキル、プロジェクトマネジメントスキル、プログラミングスキル

### 実践科目 到達目標レベル3:「基本的な知識・技術を有する」「上位者の指示を仰ぎ作業可能」

#### AI活用UX/UIデザインプログラミング演習

UX/UIデザインの基本的な考え方やHTML/CSS/JavaScriptを学び、AIを活用したWebアプリケーションにおけるUX/UI開発を修得します。

**身につくスキル** AIスキル、デザイン思考、プログラミングスキル